

【今号のトピックス】

以下のリンクをクリックすると各記事のトップに移動します。

[【広州・深圳の両地で低空経済大会開催】](#)

[【2024年「フォーチュン・グローバル500」に大湾区企業22社がランクイン、最高は53位】](#)

[【広東省2024年上半期の対外貿易輸出入額が13.8%増、同期比過去最高を更新】](#)

【広州・深圳の両地で低空経済大会開催】



パリ五輪の開会式にて、広東省企業である高巨創新（HighGreat）製の1,000機のドローンパフォーマンスがパリの夜空に輝き、低空経済の発展の鮮やかな足跡となりました。8月2日、深圳市低空経済高品質発展大会が開催され、大湾区が世界をリードする「天空都市」建設のために一連の政策及び措置、試験結果を発表しました。

共産党第 20 期中央委員会第 3 回全体会議（以下「三中全会」）で審議、採決された「中国共産党中央委員会の改革のさらなる全面深化と中国式現代化の推進に関する決定」は、「近代化インフラ建設の体制やメカニズムの整備」を体系的に展開するとしており、その中で「一般航空と低空経済の発展」に具体的に言及しています。

深圳市は、三中全会の精神を深く研究、実行し、低空経済及び航空宇宙戦略的新興産業クラスターを積極的に育成し、高品質の低空インフラシステムを構築し、世界的な低空経済本部研究開発センター、ハイエンド・インテリジェント製造センター、フルシナリオデモ検証センター及びワンストップソリューション供給センターの設立を加速させ、低空経済科学技術の「ハードコア・パワー」と「産業競争力」を強化します。

中国民航局（CAAC）の安全局長、舒明江氏は会議で「深圳市の低空経済発展は国の最前線にあり、CAAC は引き続き深圳市の低空経済発展を支持し、深圳市が無人航空試験区の建設に基づき、継続的に低空経済産業サービス体系を完備し、耐空性審査基準の研究、都市航空交通応用シナリオ、低空インフラ建設などの面において先行テストを実施し、中国の低空経済の高品質発展に貢献することを望みます」と述べました。

深圳だけではなく、大湾区は既に中国の低空経済の先駆者となっており、朝のラッシュアワーに「空中タクシー」で出勤し、ドローンで配送された昼食を取り、「フライトカー」に乗って低空飛行の観光ツアーをする、など SF 映画のシーンは徐々に現実になりつつあります。

これは広東省が省レベルから広州や深圳などの主要都市に至るまで、低空経済分野で先行していることによるものです。省レベルにおいては「広東省低空経済高品質発展促進行動計画（2024-2026 年）」が、2026 年までに広東省の低空経済規模を 3000 億人民元以上とするという目標を打ち出しています。地方都市レベルにおいては、深圳市が中国で初めて低空経済を法制化し、2022 年末に実施プログラムを発表し、2023 年末までに行動措置を打ち出しました。広州市もこれに続き、今年 5 月には実施計画を発表、同時に関連法規の立法作業に着手しました。7 月には都市低空産業の発展を支援するための措置を打ち出し、同時に 100 億人民元規模の広州低空経済産業基金、及び広州低空インフラシステム建設計画を打ち出しました。

政策主導による推進に後押しされ、大湾区は低空経済インフラの建設で先行しており、例えば深圳は「低空頭脳」のレイアウトで世界をリードし、知能融合低空システム（SILAS）の先駆的バージョンを発表しました。当システムは、自治体レベルの低空空域をデジタル化する世界初の低空管理・サービス運営システムとなっています。

大湾区企業は、業界新分野のチャンスをつかむことにも優れています。広州市と深圳市の

低空産業企業は、4,000 社を超えており、全国 1 位と 2 位を占めています。順豊（SF）グループの高級副総裁、楊天平氏は、「良好なビジネス環境と政策支援のおかげで、順豊グループ傘下のドローン物流会社である豊翼科技は深圳を中心に大湾区をカバーする低空物流ネットワークを構築しています」と述べました。

【2024 年「フォーチュン・グローバル 500」に大湾区企業 22 社がランクイン、最高は 53 位】

8 月 5 日「フォーチュン・グローバル 500」ランキングが発表されました。今年は大湾区の企業の 22 社がランクインし、最も上位にランクインした企業は依然として中国平安保険集団（以下「中国平安」）で、2019 年以降 6 年連続で大湾区内の同ランキングのトップとなっています。



地域別に見ると、今年は広東省 **17** 社、香港 **5** 社がランクインしました。広東省のランクイン企業は、主に経済と産業発展の面でより成熟している広州、深圳の二大都市圏に集中しており、内訳は深圳市 **9** 社、広州市 **6** 社、東莞市 **1** 社、仏山市 **1** 社となっています。

ランキングの変動を見ると、今年ランクインの大湾区企業は、昨年と比較し、中国華潤（China Resource）、中国南方電網、華為（ファーウェイ）、騰訊（テンセント）、比亞迪（BYD）、招商銀行、美的集団（Midea）、広州市建築集団、深圳市投資ホールディングス、広州工業投資ホールディングス、広東省広新ホールディングス、広州医薬集団、長江和記実業（CK ハチソン）の **13** 社が上昇もしくは変動なしとなっています。

特に注目すべきは、昨年新たにランクインした広州工業投資ホールディングスと広東省広新ホールディングスで、今年はそれぞれ **20** 位と **13** 位へとランキングを上げました。また、香港を拠点とする友邦保険（AIA）が1年ぶりにランキングに振り返りました。

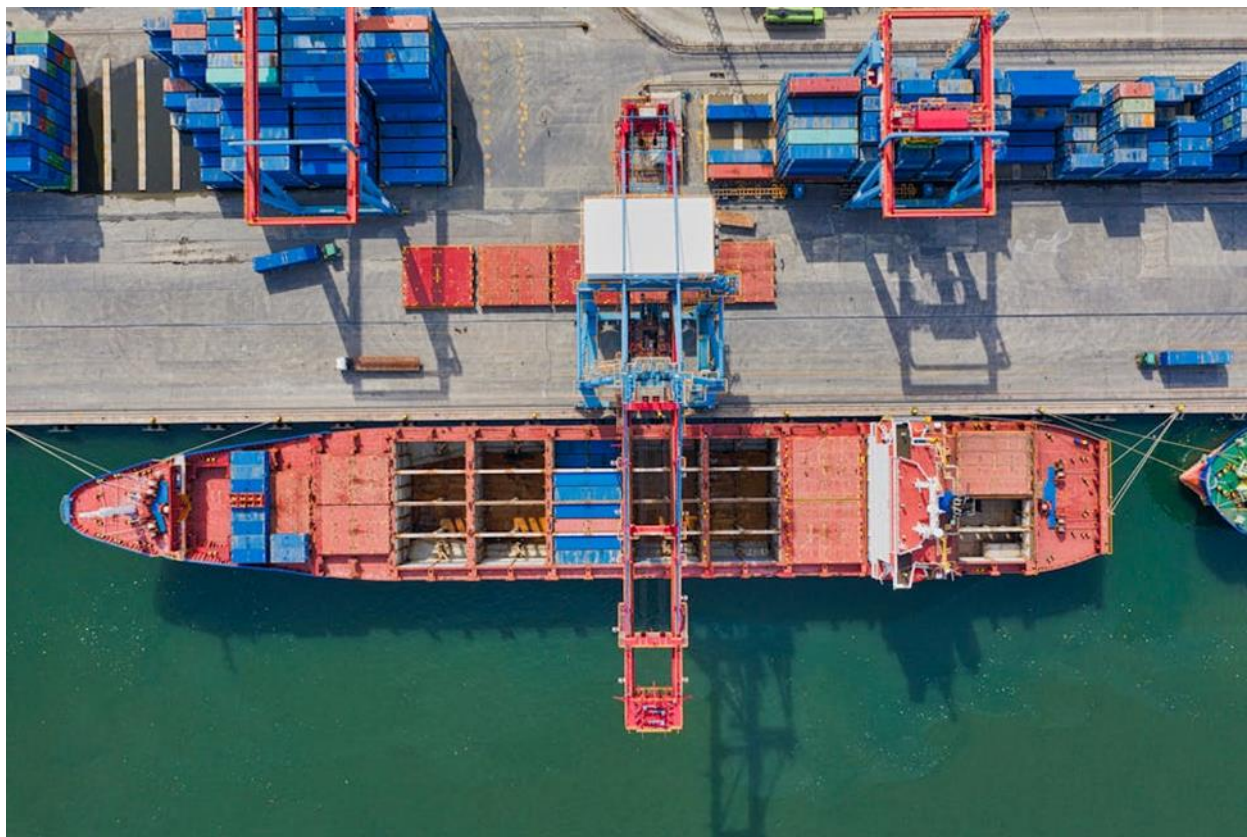
業界別では、主に自動車、電子と電子部品、家電などの製造業をはじめ、銀行・金融、バイオ医薬、インフラ、不動産など様々な業種がランクインしています。特筆すべきは、自動車業界は依然として大湾区の強力な競争力を持つ業界の一つであることです。今年の「フォーチュン・グローバル 500」では計 **10** 社の中国の自動車及び自動車部品企業がランクインしており、そのうち **2** 社が大湾区企業で、**1** 社は広州自動車工業集団で、**12** 年連続でのランクイン、もう **1** 社は比亞迪（BYD）で、昨年と比較し **69** 位上昇し、**2** 年連続で同ランキングの上昇幅が最も大きかった企業となっています。

売上高の状況から見ると、今年、ランクインした中国企業 **133** 社の **2023** 年の総収益は約 **11** 兆米ドルで、そのうち、大湾区のランクイン企業 **22** 社は約 **1** 兆 **4,000** 億米ドルで、総額の約 **12.7%** を占めています。

(図) 「フォーチュン・グローバル 500」にランクインした大湾区企業

ランク	企業	登記所在地
53	中国平安保険（集団）	深圳
72	中国華潤（China Resource）	香港
78	中国南方電網	広州
103	華為（ファーウェイ）	深圳
141	騰訊（テンセント）	深圳
143	比亞迪（BYD）	深圳
179	招商銀行	深圳
181	広州汽車工業集団	広州
206	万科（Vanke）	深圳
248	聯想集団（Lenovo）	香港
277	美的集団（Midea）	仏山
361	広州市建築集団	広州
370	深圳市投資ホールディングス	深圳
394	広州工業投資ホールディングス	広州
414	広東省広新ホールディングス	広州
415	順豊ホールディングス（SF Express）	深圳
417	広州医薬集団	広州
421	怡和集団（ジャーディンマセソン）	香港
435	中国電子情報産業集団	深圳
439	長江和記実業（CKハチソン）	香港
446	友邦保険（AIA）	香港
488	立訊精密工業（Luxshare）	東莞

【広東省 2024 年上半期の対外貿易輸出入額 13.8%増、同期比過去最高を更新】



税関総署広東分署の統計によると、今年上半期、広東省対外貿易輸出入額は4兆3,700億元に達し、同期比の過去最高額を更新し、前年同期比13.8%増、中国全国の平均水準を7.7%上回り、中国全国総額の20.6%を占めました。そのうち、輸出額は2兆8,500億元と前年同期比12.1%増、輸入額は1兆5,200億元で前年同期比17.1%増となっています。

広東省の今年上半期の対外貿易の輸出入に関わるデータについて、下記にて詳しく説明します（以下、増加率は前年同期比）。

- (1) 広東省の主要輸出商品の伸び率が比較的高い。
電気・機械製品の輸出額は9.9%増、広東省の輸出総額の64.4%を占める。そのうち、自動データ処理設備及び部品、家電製品、集積回路はそれぞれ14.6%、16.7%、26.3%増加し、船舶、電気自動車、コンテナはそれぞれ70.7%、78.3%、104%増加。また、労働集約型製品の輸出額は2.4%増と、広東省の輸出総額の14.1%を占めてい

る。鉄鋼の輸出額は**898.6** 億元で、**4.4** 倍に増加。

(2) 貿易形態構造は引き続き最適化。

一般貿易輸出入額は**2 兆 6,100** 億元で、**16.9%**増、広東省輸出入総額の**59.6%**（前年同期比**1.6%**増）を占める。加工貿易の輸出入額は**9,070.1** 億元と**2.2%**増、広東省の輸出入総額の**20.8%**を占めている。保税物流輸出入額は**8,125.2** 億元と**25.1%**増、広東省輸出入総額の**18.6%**を占める。

(3) 貿易企業の活力が高まっている。

民間企業の輸出入額は**2 兆 8,000** 億元と、**21.3%**増、広東省全体の増加率を**7.5%**上回り、広東省の輸出入総額の**64%**を占める。外資企業の輸出入額は**1 兆 3,400** 億元と、**2.1%**増、広東省輸出入総額の**30.7%**を占める。国有企業の輸出入額は**2,209.5** 億元と、**2.2%**増、広東省輸出入総額の**5.1%**を占める。

(4) 主要貿易相手国の輸出入額には好調な伸びが見られる。

広東省の貿易相手国、地域のトップ5の輸出入額は、アセアン諸国**12.3%**、香港**16.9%**、米国**10.6%**、EU諸国**7.1%**、台湾**17.2%**増加した。同期間、「一帯一路」加盟国に対する輸出入額は**1 兆 6,400** 億元と、**12%**増、また、その他 RCEP 加盟国に対する輸出入額は**1 兆 2,400** 億元と、**12.5%**増。

(5) 電気・機械製品とエネルギー製品の輸入は二桁成長を維持。

電気・機械製品の輸入額は**23.6%**増加し、広東省の輸入総額の**64.2%**を占める。そのうち、集積回路輸入額は**5,269.8** 億元と、**21.3%**増。自動データ処理設備及び部品は**1,055.8** 億元と**6.9%**増。半導体製造設備は**295** 億元と、**2.4** 倍の増加。石炭、原油、天然ガスなど三類エネルギー製品の輸入量は計**4,960.2** 万トンと、**38.9%**増、金額ベースでは**688.8** 億元と、**17.6%**増。

下半期の展望について、税関総署広東分署は、広東省の対外貿易が依然として不安定で不確実な要素に直面することが考えられるも、外需の継続的な回復、対外貿易の安定化のための様々な支援政策成果の継続的リリース、企業の受注増加といった好材料に支えられ、全体的な発展の勢いは引き続き良好であることが予想されます。

【参考資料】

・ [広州・深圳の両地で低空経済大会開催](#)

・ [2024年「フォーチュン・グローバル500」に大湾区企業22社がランクイン、最高は53位](#)

・ [広東省2024年上半期の対外貿易輸出入額13.8%増、同期比過去最高を更新](#)

青葉【WeChat公式】のフォローをご希望の方は、
右記のQRコードから登録をよろしくお願いいたします。
(WeChatアプリにて、QRコードをスキャンしてください。)

[大湾区ニュースレター特集ページへのリンク](#)

また「大湾区情報」だけでなく、中国、香港のニュースや最新制度情報もWeChatの公式アカウントに掲載しています。



=====
[最新ニュースページ](#)で過去に発行したニュースレター、及び香港・中国本土最新ニュースをご覧になれます。

ホームページと共に、SNSでも随時情報を発信してまいりますので、是非ともフォロー、いいね！をお願いいたします。



質問等お問合せ先

青葉監査法人・青葉ビジネスコンサルティング・青葉法律事務所
担当:

香港：新井 茂 <s.arai@aoba.com.hk>

広州：Monica Tian/田 倩 <monica.tian@aoba.com.hk>

北京：Susan Zhao/趙 素艷 <susan.zhao@aoba.com.hk>

=====